

# ふみびと

第360号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 何気ない日々 意味を成すとき

### いつかの、「ごちそう」

学生の頃に好きで食べていた駅の立ち食いそば。当時の価格はというとうと、物価の上がつている今では考えられないほどの手頃な価格。

「手頃」とはいえ、貧乏学生だった私には頻繁に食べるほどの余裕もなく、たまの贅沢として食べていました。アルバイトの給料が出たり、親に昼食代を持たせてもらった時などの特別な「ごちそう」それを楽しみに少し遠方の通学も長く続け

られたような気がします。大人になって久しぶりに同じ駅の立ち食いそば

屋さんに行くといつと同じ思い出の味。学生の頃は「贅沢品」として食べていたからか、今でも特別に美味しく感じるものです。

今はそのお店のそばを食べるのに財布と相談する必要はなくなつたけれど、その駅を通ることがめつきり減ってしまった今ではやはりたまの「ごちそう」



立ち食いそばよりも高価で本格的なそばをいただくこともあれば、それ以外にも評判のお店で美味しい料理をいただくこともあるけれど、今年一年を振り返って心に残っている食事としてパツと思い出すのがその立ち食いそば屋さんの一杯のそば。思い出と一緒にいただくそばは、高価なものではなくても格別なものです。

年末は何をして過ごそうかと考

えるだけで、この一年の出来事が自然と浮かんでくる。楽しかったこと、頑張ったこと、それから少しの心残りも。それらが心の中をめぐる時間は、穏やかで少し切ない気持ちになる。

この時期は、特別なことをしなくても、どこかで「終わり」と

「始まり」を意識させられる。部屋を片付けたり、新しい手帳を用

意したりするだけで、一年を締めくくる実感が湧く。そして、「今年のはどうだっただろう」と思い返すたびに、完璧ではなかった

### 積み重ね

重なるのか、楽しみに思う。

けれど、また自分自身を積み重ねてきたことを頼もしくも感じる。

年末の静かな時間は新しい年への準備と一年を見送る儀式が混ざり合う特別なものだ。今年も静けさの中で、小さな希望を胸に新しい年を迎えたい。そして、また新たな一年をどんな風に積み重ねられるのか、楽しみに思う。

### 風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新年度の方へ優先されます。送る方には簡単な手紙を貼り宛先を切り取って手紙に貼った方へ「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の筒さで流す宛封下まで交り局用封今いま



### 来年1月の発送日

※いつもの発送日と異なるので、ご注意ください。

1月発送日は10日、27日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ7日、24日までに事務局に到着することを近隣の郵便局で確認の上ポストに投函して下さい。

### 感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたい。方法は事務局宛でのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報をお守りさせていただきます。ご要望等もお気軽に送ってください。

